

第16回
定期演奏会

和み

NAGOMI
SYMPHONY
ORCHESTRA

交響楽団 指揮: 藏野 雅彦

NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA

演奏曲目

シューベルト:
「ロザムンデ」序曲

第16回演奏会は、シューベルトの劇付随音楽の序曲から始まります。「歌曲の王」とも呼ばれる彼は、交響曲の名曲もそうですが、とりわけ歌曲には多数の名曲を遺しています。「キプロスの女王ロザムンデ」に付ける曲として作られた本曲。初演まで2ヶ月程度というわずかな期間で10曲の名曲を作り上げた彼の、次々と変わる曲調の本曲を、ぜひお楽しみください!

シューマン:
交響曲第4番

ダブルシンフォニーの1曲目は、シューマンの隠れた(?)名交響曲です。妻の誕生日プレゼントとしてわずか3ヶ月程度で作られた本曲。便宜的に4楽章にわけられるものの、全曲休みなく演奏される、30分程度の彼の最後の交響曲。幻想的な出だしから生き生きとした最後へ。「シューマンらしい」といわれる本曲で中プロを飾らせていただきます!

ベートーヴェン:
交響曲第3番「英雄」

メインでは、ベートーヴェンの名曲「英雄」に挑戦致します。ベートーヴェンの交響曲の中でも長大で、重厚感もある本曲。「葬送行進曲」、「使用する楽器の表現法」など、当時の常識を打ち破った名曲であることは有名です。ナポレオンを讃える曲として当初は作られ、ベートーヴェン本人が「1番いい」と表現する、スーパーシンフォニーです。

今回で6回目の共演となる藏野雅彦先生が「当団の団風に合う!」と評してくださったこのプログラム。ぜひご期待ください!!

2018 2/25 SUN

13:00開場
14:00開演

入場料

¥1,000 12:30より当日券販売
(全席自由) ※未就学児のご入場はご遠慮願います。

当日、託児室を設置いたします(6ヶ月以上の児童対象・定員あり・1人2,500円) ご希望、お問い合わせは2018年2月11日(日)までに nagomi_orch@infoseek.jp まで、メールにてご連絡下さい。



チケット
お問い合わせ

- 京都コンサートホールチケットカウンター TEL:075-711-3231/3090(10:00~17:00)
- 和み交響楽団 事務局: nagomi_orch@infoseek.jp ホームページ: nagomiorch.web.fc2.com
- ローソンチケット 発売中 Lコード: 51920
0570-084-005(音声自動応答24時間) http://l-tike.com ローソン店頭Loppi
- JEUZIA 三条本店3F(APEX管楽器)TEL:075-254-3750/三条本店別館(APEX弦楽器)TEL:075-229-6560
※当団でのチケットの払い戻しは致しかねますので、予めご了承下さい

京都コンサートホール 大ホール

京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番出口 南へ徒歩3分

- JRの場合: JR京都駅にて地下鉄烏丸線に乗換え、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約16分
- 阪急の場合: 阪急烏丸駅にて地下鉄烏丸線四駅に接続、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約12分
- 京阪の場合: 京阪丹波橋駅にて近鉄に乗換え、竹田駅にて地下鉄烏丸線に乗換え、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約24分(丹波橋駅から直通電車もあります) ●住所: 左京区下鴨半木町1-26 TEL: 075-711-2980

駐車場のご案内 午前8時~午後11時 但し、休館日を除きます。30分毎 ¥250 約100台収容可能 どなた様でもご利用いただけます。

藏野 雅彦

MASAHIKO KURANO



1956年京都市生まれ。幼少より音楽教育を受け、京都市立上京中学校吹奏楽部でトランペットを始める。京都市立堀川高等学校音楽科を経て1979年東京藝術大学卒業。ソリストとしてハイドン、フンメル等のトランペット協奏曲をオーケストラと共演するほか、フリーランサーとしてカラヤン指揮ベルリンフィル、NHK交響楽団等で演奏する。また上野の森管楽合奏団、東京チェンバラスコワイヤー、京都シティプラスアンサンブルのメンバーとして活動。藏野雅彦金管五重奏団を主催。1989年リサイタル開催。1987年より指揮者としてのキャリアを開始。1992年ウクライナ国立交響楽団より招聘されマーラー/交響曲第1番「巨人」、プロコフィエフ/ロミオとジュリエット等を指揮、国内では京都市交響楽団演奏会でオネゲル作品等を指揮しプロデビューする。1993年指揮を小泉和裕氏に師事する。2002年文化庁派遣芸術家在外研修員としてオーストリア国立グラーツ芸術大学に留学、マルティン・ジークハルト教授に師事。グラーツ歌劇場においてフィリップ・ジョルダン氏からオペラ指揮法を学ぶ。2004年にはロシア国立ノヴォシビルスク・アカデミー交響楽団より

招待され、マーラー、R.シュトラウス作品を指揮し満場のスタンディングオベーションを受けた。2006年には兵庫県芸術文化センター開館事業として中西覚作曲のオペラ「おさん 茂兵衛丹波歌麿」を指揮し大成功を収めた。2008年高昌帥作曲関西シティフィル委嘱作品「あなたに」の初演指揮で大好評を得る。2010年平野一郎作曲八幡市委嘱作品「八幡縁起」の初演を指揮し大きな反響を呼び、さらに2016年同氏作曲「八幡大縁起」の初演を指揮し大成功を納めた。現在までにキエフ・シェフチェンコ国立歌劇場管弦楽団、ウクライナ・ナショナル交響楽団、ロシア・マリエルク国立歌劇場、同管弦楽団、キエフ・ルイセンコ音楽院弦楽合奏団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、京都市交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、大阪市音楽団をはじめ多くのオーケストラを指揮し好評を博す。第13回京都芸術祭京都府知事賞受賞。指揮を小泉和裕、マルティン・ジークハルト、田中良和、伊吹新一、遠藤雅古の各氏に師事。現在、京都教育大学および同大学院非常勤講師、青山音楽財団理事および未来構想委員、京都堀川音楽高等学校改革推進コーディネーター。

和み交響楽団

NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA



当団は、「学生時代に各方面の大学オーケストラで喜怒哀楽を共にした仲間達と、もう一度音楽をやりたい!!」という熱意から、2007年3月に青春時代の話に花を咲かせる中で誕生した、京都を本拠地とする楽団です。「和み交響楽団」という命名の由来は、「演奏会に足を運んで頂いたお客様に和んでいただきたい」、「和(=ハーモニー)を大切にしたい音楽をしたい」、そして「一緒にいると和める仲間でありたい」という団員全員の想いが込められています。当初は京阪神の大学の交響楽団、弦楽団、吹奏楽団等で活躍したメンバーを中心に構成されていました。しかし現在はその枠を越えて、京阪神どころか中には関東圏からも「和みの音楽をやりたい」というメンバーが集まっています。団名に込めた思いの通り、私達の演奏で皆様「和み」を感じて頂けるよう、さらなる熱意をもって約50名の団員で練習に取り組んでおります。